

2018年度 オホーツク地区サッカー協会 第2回審判員研修会【報告レポート】

- 1 主 旨 審判員の審判技術強化ならびに審判員としての資質の向上をし、地区の審判レベルの向上を図る。
- 2 開催期日 2018年8月25日（土）
- 3 参加人数 3名
- 4 講 師 オホーツク地区サッカー協会審判委員会  
安藤 浩二 インストラクター 工藤 尚 インストラクター
- 5 開催場所 <実技> えんがる球技場【遠軽町】（全国高校サッカー選手権地区予選大会会場）  
<理論> えんがる球技場 ミーティングルーム
- 6 研修内容 (1) 審判実技 「2種 全国高校サッカー選手権大会オホーツク地区予選大会 2回戦」  
主審での実技終了後、インストラクターとの振り返り  
(2) 審判理論 「2018/19年サッカー競技規則の改正について」・「判定基準」  
・2018/19年サッカー競技規則の改正について確認  
・本年度のJリーグの映像による判定基準の確認やディスカッション
- 7 研修成果 (1) 参加者3名のうち2名が3級審判員であり、この研修会の実技や理論を通して今後の審判活動に生かされる。今後2級審判員取得を期待したい。  
(2) 2種以外の審判員の参加により他種別ごとの交流があった。今後も他の種別から参加していただき、種別を越えた交流を期待したい。  
(3) 審判理論では今年度のJリーグの最新の映像を用いて様々な議論をすることができ、判定基準を改めて考える機会となり大変有意義であった。今後も継続したい。

